

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	・長期休暇時など放デイと同時の開所となると活動が限られることがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	・小学校の早下校時の対応が難しいと感じる時がある。 ・個々にしっかりとした療育を行うには、もっと職員は必要だと思う。 ・国の最低基準では実際の現場レベルでの適正な療育は進められないので、企業努力で満たせるように努めているが、限界がある
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		・時間の空いた時（児発終了後など）に現場職員も自ら積極的に清掃などの環境設定を行い、快適に過ごせるように努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	・毎日の支援の振り返りを行っているため、職員間で情報共有ができています。 ・職員間での意思疎通は図りやすく、日々振り返り等で出来ていると思う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		・アンケートの実施、意見箱の設置ができています。 ・毎年、アンケート後の職員会議で議題にあがっている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	・外部評価を行っているのかを知らない。 ・評価委員会はあるが、具体的な改善策などの実践には至っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	・年度後半から研修の時間を設けているので、様々な意見を聞くことができた り、個人が担当を持ち発表することで良い勉強にもなっている。 ・日々の業務で研修の時間を確保することがなかなか難しい状況。質を向上するためにもう少し研修の機会があるといい。 ・十分に確保できているとは言えない。 ・職員の自助努力で時間を捻出して、自己研鑽や利用児への支援につながるような取り組みを行っている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行っていることで細かい所まで支援を統一して行うことができている。 ・支援計画では療育実践のための大切な指針なので、各職員がしっかり理解した上で支援を行っている。 	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しながら活動を考えることができている。 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日ごとにリーダーが変わり、活動を考えている。 ・各個人の裁量にもよるが、各自が努力して工夫しながら進めている。 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に確認できている。 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日できている。 ・児発終了後に振り返りの時間を設けているが、放デイ業務と重なるため、全職員での参加は難しい。 ・日々の療育の中で一番大事な時間と位置づけて時間を捻出している。 	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・今の支援記録が見やすく、見直しや課題の把握がしやすい。 	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・十分なモニタリング時間を取ることができている。 ・担当も参画し、モニタリングをしっかりと行う事ができている。 	
	関係機関や保護者と	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		
23		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・十分とは言えない。 ・現在、医ケア対象児はいない。
24		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者情報が主になっている。 ・現在、医ケア対象児はいない。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の情報共有ができている。 ・情報伝達などは依頼があればしっかり行っている。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		<ul style="list-style-type: none"> ・申し送り書を記入し、小学校へ情報を伝えている。

の 連 携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・支援方法を統一したり、利用者の様子を知るために見学に行ったり、来られたりと連携している。 ・できる範囲で他事業所に情報共有を伺ったり、助言をもらったりしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・母体の保育所の行事に参加している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、帰りの際に伝えることができている。 ・送迎時や連絡帳でその日の出来事（良いこともそうでないことも含めて）伝えている。 ・単独通園型の事業では最も大切なことだと認識している。家庭への般化、理解につなげるためにも。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスをすることあるが、ペアトレまではしていない。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・クッキングや遠足などのお知らせを発信している。 ・定期的な会報は発行していないが、日々様子は口頭・連絡帳でも伝えるし、写真などを通じて、実際の様子や表情が見えるようにして伝えている
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に招待することはしていないが、地域住民の方とあいさつをしたり、お話しする機会がある。
非	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	月1回避難訓練を行っている。

常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4		

実施期間：令和5年12月 回答数： 5 (回答率 84 %)